



地域と結ぶ情報誌

## ちゅうごくしこく

第5号

編集・発行

中国四国防衛局 総務部

〒730-0012

広島市中区上八丁堀6-30

電話 082 - 223-7109



## 岩国航空基地フレンドシップデー開催

こどもの日の5月5日、山口県岩国市の米海兵隊岩国航空基地において「フレンドシップデー」が開催されました。同基地所属のAV8Bハリアー垂直離着陸攻撃機の展示飛行、2年ぶりのブルーインパルスによる航空ショーなどが行われたことに加え、折からのETC効果（高速道料金の最大1,000円化）もあり、過去最多の約27万5千人もの来場者でにぎわいました。

フレンドシップデーは、バンド演奏、米軍施設等の一般公開、各種航空機の展示飛行など各種イベントによって日米両国の親睦を深めるため、毎年「こどもの日」に実施しており、今年で36回目を迎えました。

当日は晴天に恵まれ、オープニングセレモニーでは米海兵隊偵察部隊の6人が日米両国の国旗をなびかせながらパラシュートで降下。引き続き、マイケル・オハローラン司令官から「日ごろからの岩国市と基地との友情と協力関係を、皆様によくご理解いただける良い機会だと思います。今年もまた、バンド演奏をはじめ、さまざまな展示、米軍及び自衛隊の最高の航空ショーをお楽しみください。

(2ページへ続く)



（前ページより続く）米海兵隊岩国基地を代表し、日ごろの友情と感謝の気持ちを、少しでも表す機会ができたことをうれしく思います。皆様、本日は、お越しいただきありがとうございます。どうぞ一日お楽しみください」とあいさつ。

続いて、福田良彦岩国市長から「フレンドシップデーは長い歴史がある。私も子どものころから、フレンドシップデーを楽しんできました。各種イベントを通じて一日をしっかりと楽しみ、友好を深め楽しく過ごしてほしい。岩国市は基地だけでなく、平成百景に選ばれた錦帯橋など素晴らしい観光地がありますので、時間があればぜひ立ち寄って」と歓迎の言葉が述べられました。

## ユース・ベースボール開幕

4月18日、米海兵隊岩国航空基地において「ユース・ベースボール」の開会式及び試合が開催されました。日本人約40人を含む、3～15歳までの子供276人が計22チームに分かれ、6月13日までの約2か月間にわたり練習や試合を行う予定です。

開会式では、マイケル・オハローラン司令官が「野球を通じて両国の文化を学ぶいい機会にしてほしい」とあいさつし、キャンディス同司令官夫人が始球式を務めました。市内の和太鼓チーム「麻里布ブンブン3」によるパフォーマンスも披露されました。

ユース・ベースボールは、子供たちにスポーツを通じて文化交流してもらおうと約10年前から実施されており、同様のプログラムは野球のみならずサッカー、バスケットボールなどでも実施されています。



フレンドシップデー、ユース・ベースボール等をはじめ、さまざまな日米親善交流が行われています。

## 第1回岩国基地に関する協議会開催

平成21年2月3日、第1回岩国基地に関する協議会が、岩国市役所において開催されました。

この協議会は、岩国飛行場への空母艦載機の移駐等に関し岩国市から要望された安心・安全対策の一つである「国と岩国市の定期的な協議の場」として、中国四国防衛局、岩国市及び山口県の三者で構成され、米軍岩国基地に係る安心・安全対策について、共同して問題解決を図るために設置されたものです。

当日は、協議会設置に係る確認書が締結された後、引き続き第1回岩国基地に関する協議会が開催されました。

第1回協議会では、①街頭緊急通報システム(通称:スーパー防犯灯)の設置、②住宅防音工事の未実施の世帯への対応、③自動騒音測定装置の設置場所等、④苦情等の受付の4項目について協議を行いました。

このうち、スーパー防犯灯については、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、川下地区に設置することになり、平成20年度は設計を行い、平成21年度には工事を行うことになりました。

また、自動騒音測定装置については、岩国市内に2か所増設することになり、設置場所は、青木町及び装束町に決まりました。

確認書の締結



自動騒音測定装置



### 自動騒音測定装置の設置について

第1回岩国基地に関する協議会において、岩国市内の自動騒音測定装置の設置場所が決定されました。

当局としては、より広域の騒音状況を把握するため、岩国飛行場周辺の廿日市市及び江田島市にも併せて設置することとし、平成21年3月に設置を完了しました。

今回の設置により、岩国飛行場周辺では17台の自動騒音測定装置で騒音状況を把握することになります。

なお、新たに設置された自動騒音測定装置による測定データについても、今後、当局のホームページにおいて公開する予定です。

中国四国防衛局ホームページのアドレスは次のとおりです。

<http://www.mod.go.jp/rdb/chushi/>

## 岩国市みすみクリーンセンター竣工式

5月8日、岩国市三角町において、4月1日から稼働を開始している新し尿処理施設「岩国市みすみクリーンセンター」の竣工式が行われました。当該施設は、岩国飛行場滑走路移設事業により移転が必要となったため、防衛省の公共補償工事として建設したものです。

平成17年度から造成工事に着工し、18年度からプラント工事を行い、今年3月末に施設が完成しました。



### 施設概要

敷地面積 11,576㎡

処理能力 水処理…標準脱窒素処理方式+高度処理  
汚泥処理…乾燥焼却処理

能力 118kℓ/日…し尿処理20kℓ/日  
…浄化槽汚泥98kℓ/日



竣工式には、中村範明中国四国防衛局長も参加し、岩国基地の安定使用に対する謝辞を述べるとともに岩国市の環境衛生が一層向上するよう願っている旨の祝辞を述べました。

引き続き、公募した新処理施設の名称の命名者をはじめ、工事協力関係者である地元自治会長、漁協関係者に福田岩国市長から感謝状と記念品が贈られ、最後に完成を祝い、敷地内に桜の苗木を植えました。



## 呉みなと祭り開催



4月29日、広島県呉市蔵本通り一帯で春を彩る恒例の「呉みなと祭」が開催されました。今年で52回目となる同祭は、国際色豊かな料理や、バザー、さらには総勢3,000人にも及ぶパレードなど、内容が盛りだくさんのイベントです。パレードには海上自衛隊呉音楽隊や米陸軍音楽隊なども参加し、祭りを盛り上げました。

## 海上自衛隊補給艦「とわだ」がインド洋から帰港



補給支援特別措置法に基づき、インド洋上で補給支援活動を行うため、昨年11月10日出港した第1海上補給隊の補給艦「とわだ」（基準排水量8100トン・乗員約140名）が任務を終え、4月27日、母港である海上自衛隊呉基地に帰港しました。

「とわだ」は平成13年11月の初回の出港から今回で7回目のインド洋派遣となり、国際テロを根絶するため各国等の艦船に対し燃料や水の補給支援活動を実施しました。

## 防衛問題セミナー等開催

中国四国防衛局では、我が国の安全保障や国の防衛に関する問題について、広く国民の皆様に御理解を頂くため、防衛省の政策や自衛隊の活動の現状などについての情報を積極的に提供することとし、今後も引き続き、防衛問題セミナー等を開催する計画です。

これを機会に「防衛」について身近に考えてみませんか。

平成21年度予定

高知県防災フェスティバルに出展

テーマ：「自衛隊の災害派遣～新高知駐屯地開設に向けての作業状況～」

日時：6月7日（日） 午前10時～午後3時

場所：高知県奈半利港緑地公園

展示内容：パネル展示、ビデオ放映等

（皆様のご来場をお待ちしています！）

防衛省の政策や自衛隊の活動等に関する講演等について、当局管内の自治体や学校等でご要望があれば防衛省・自衛隊から講師を派遣します。

なお、講師の派遣に伴う経費等の必要は一切ありません。

【テーマの例】

「国際テロを根絶するために」

「大規模災害対策への取り組み」

「自衛隊による国際平和協力活動等について」等々

お問い合わせ先：中国四国防衛局 企画部 地方調整課 （電話 082-223-7153）

## 祝 「てつのかじら館」来館者100万人突破！



広島県呉市の「海上自衛隊呉史料館」（通称てつのかじら館）は5月17日、開館3年目にして来館者100万人を達成。記念セレモニーを開催しました。

同館は防衛省のPFI事業により整備され、平成19年4月に開館。16年まで就役していた潜水艦「あきしお」が陸上展示されており、艦内を見学できることから多くの来館者で混み合っています。